**作品タイトル**

舞い落ちる花びら錯視

**応募者**

吉本 早苗（広島大学）

竹内 龍人（日本女子大学）

**解説**

菱形図形を菱形格子に少し重ね，直進させたものを周辺視で観察すると，花びらが舞い落ちるかのように，菱形図形が回転しながら揺れる運動が知覚される。この運動は，菱形図形や菱形格子の色に依存せず知覚される一方で，輝度コントラストの影響を受ける。そのため，運動エネルギーモデル（Adelson & Bergen, 1985）といった初期の運動検出モデルで説明できると考えられる。しかしながら，菱形図形の運動速度は遅いほうが錯視量が大きく，菱形図形と背景が同じ色でも生じることから，主観的輪郭の形成といったより高次の機構の関与が示唆される。なお，類似の現象にフットステップ錯視（Anstis, 2001）が挙げられるが，フットステップ錯視で用いられている背景上で菱形図形を動かしても，回転しつつ揺れるという印象が得られないことから，本錯視はフットステップ錯視とは異なる側面をとらえた運動視現象であると考えられる。

**連絡先**

吉本 早苗

〒739-8521 広島県東広島市鏡山1-7-1

E-mail: syoshimo (at markに書き換えてください)hiroshima-u.ac.jp

**引用文献**

Adeloson, E. H., & Bergen, J. R. (1985). Spatiotemporal energy models for the perception of motion. *Journal of the Optical Society of America A*, *2*(2), 284–299. doi:10.1364/JOSAA.2.000284

Anstis, S. M. (2001). Footsteps and inchworms: Illusions show that contrast modulates motion salience. *Perception*, *30*, 785–794. doi: 10.1068/p3211